

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		農産物振興対策事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3705
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市花き・野菜産地育成活動補助金交付要綱			
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		花き、野菜園芸の振興と産地づくりを図るため、生産者団体（ふかや園芸協会、深谷市花き生産組合連合会、）が実施する事業に対して、補助金を交付するとともに側面的な支援を行うものである。							
目的 ※何のために		農業経営者の育成と生産者団体の自主的運営を促進するため。							
対象 ※誰・何を対象に		野菜及び花きの生産者団体							
手段 ※どのように		野菜及び花きの生産者団体が実施する事業に対し、補助金を交付するとともに側面的な支援を行う。							
成果 ※何を求めるか		農業経営者の自立的経営の促進と安定が図られる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	農産物振興対策事業		900,000	
本事業の 主な業務		・ 深谷市花き生産組合連合会への補助金交付				・			
		・ ふかや園芸協会への補助金交付				・			
		・ 野菜及び花き生産者団体の支援				・			
		・ 市況調査、市内価格動向調査				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・ 補助金交付、側面的支援	・ 補助金交付、側面的支援	・ 補助金交付、側面的支援	・ 補助金交付、側面的支援	・ 補助金交付、側面的支援	・ 補助金交付、側面的支援
事業費	予算（現額）	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
	決算額	661,000	723,244	837,778	900,000	900,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	661,000	723,244	837,778	900,000	900,000
人件費	従事職員数（人）	0.52	0.73	0.57	0.88	0.78	0.78
	人件費相当試算※	4,045,080	5,680,860	4,619,850	7,159,680	6,054,294	6,342,451
	総事業費試算	4,706,080	6,404,104	5,457,628	8,059,680	6,954,294	7,242,451

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	補助金交付団体数	目標値	団体	2	2	2	2	2	2
		実績値		2	2	2	2	2	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市花き・野菜産地育成活動補助金交付要綱による。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	補助金交付団体会員数	目標値	人						
		実績値		683	679	719	709	690	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により会員数が変わるため、目標値設定なし / 各団体の総会資料による						
	実績値の算出式								
成果指標 1	PRイベント回数（自主、参加事業）	目標値	回						
		実績値		11	13	11	16	20	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値設定なし。必要に応じて随時開催するため。 / 各団体の総会資料による						
	実績値の算出式								
成果指標 2	研究・勉強会数	目標値	回						
		実績値		17	15	14	0	10	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値設定なし。必要に応じて随時開催するため。 / 各団体の総会資料による						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市花き・野菜産地育成活動補助金交付要綱に基づき、ふかや園芸協会及び深谷市花き生産組合連合会が実施する事業に対して、補助金の交付を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限がかかる中ではあったが、感染対策を講じながら生産技術向上のための役員会の開催やPRイベントを開催し、消費者ニーズを把握することができ、消費者の求めに応じた生産につながった。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	生産者団体と連携することで、市内外を問わず花きや野菜をPRすることができ、消費拡大や認知度向上につながり、農業経営の安定と消費者ニーズにあった自立的経営を図ることができた。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農産物振興対策事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3705
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>生産者団体の自主事業（PRイベント）が増えることで、消費者ニーズを生産者が直接把握することができ、消費者ニーズにあった農業経営につながっているため、引き続き生産者団体の事業に対して補助金を交付し、農業経営者の育成と生産者団体の自主的運営を促進していく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者 農業振興課長 三ツ橋 正記					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

